

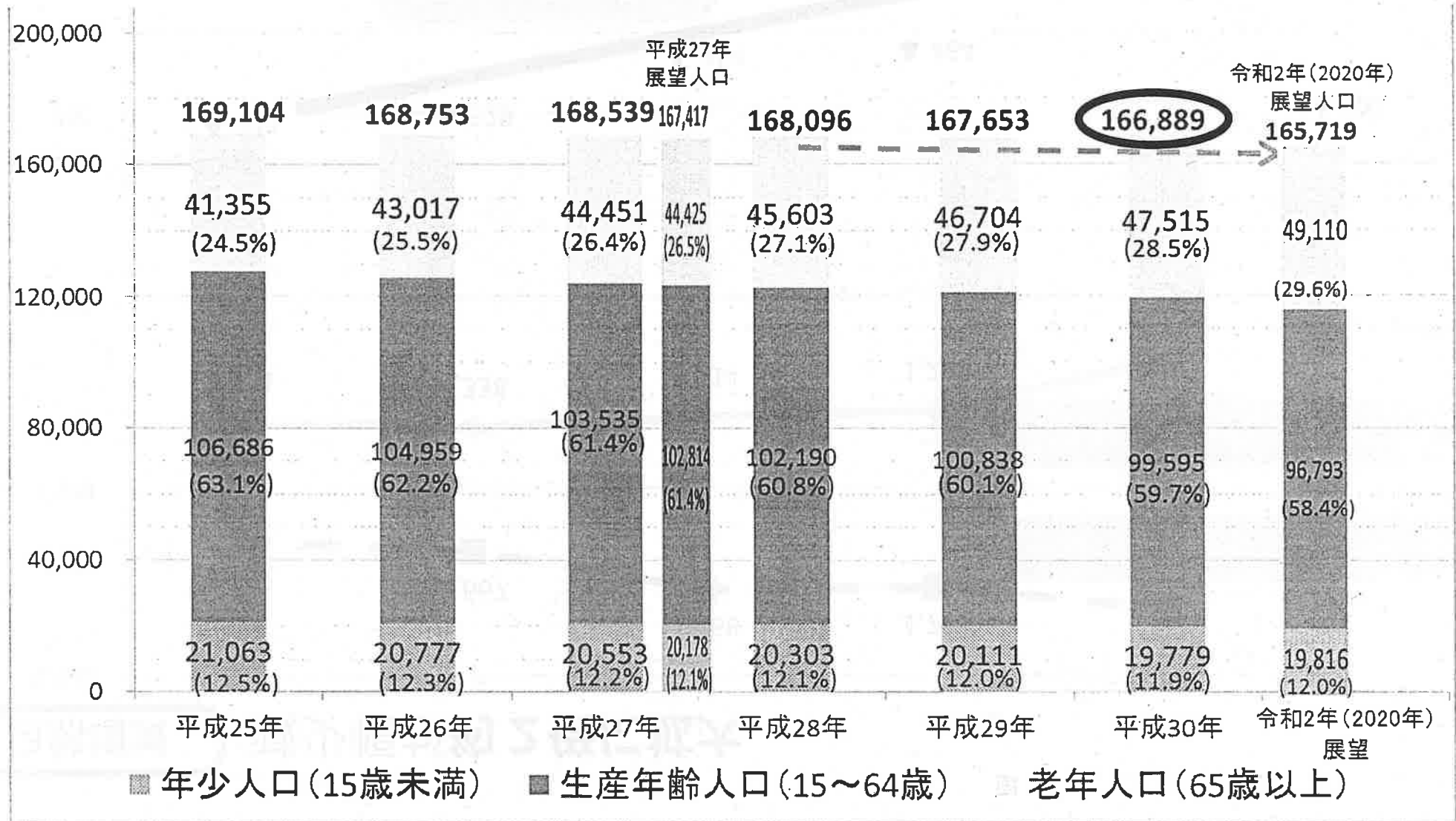
帯広市の人口動向

資料2

令和元年8月1日
総務委員会提出資料

総人口

H27~H30の間で1,650人減少 (▲1.0%)



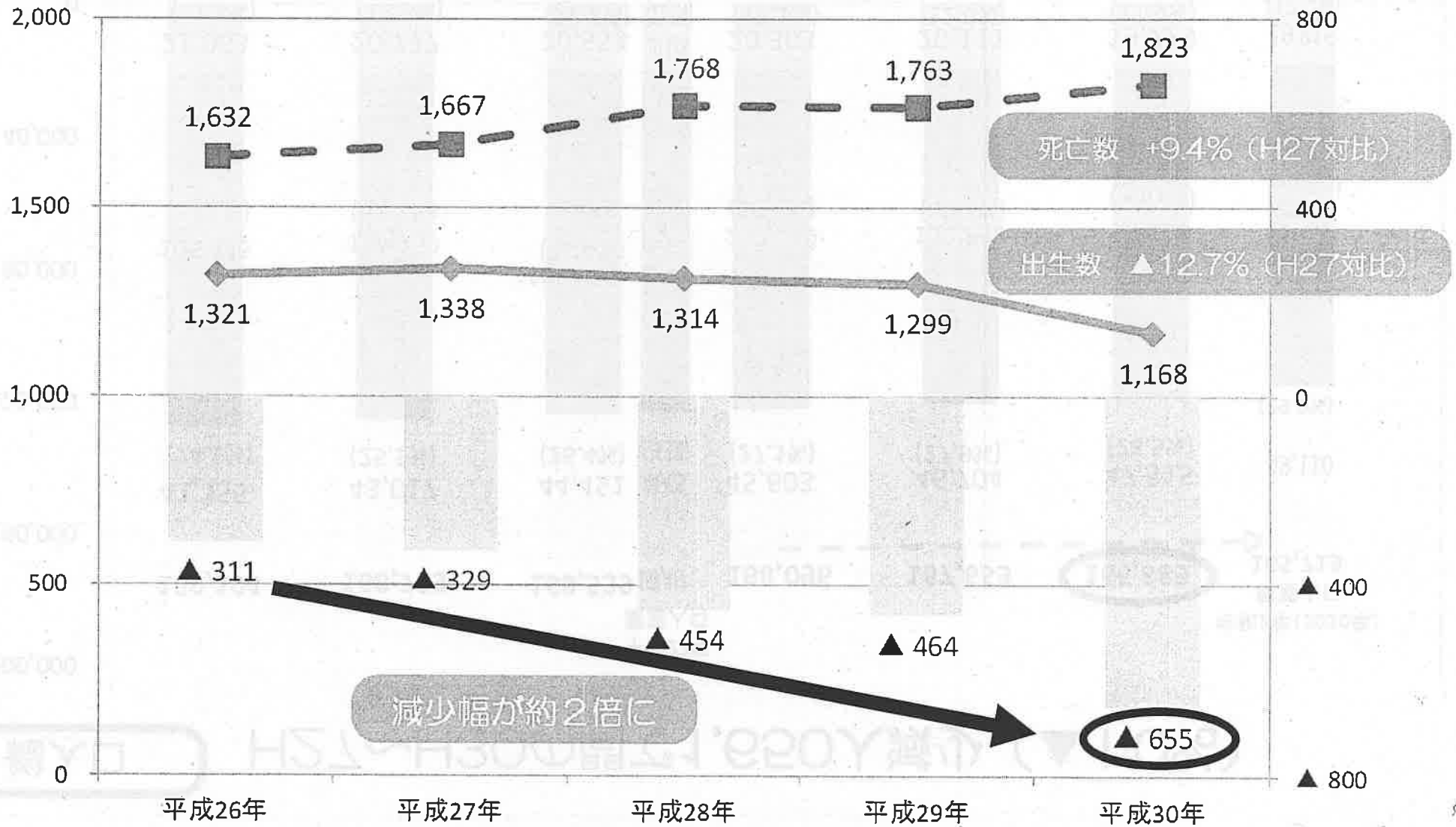
注) 各年12月末日現在

出典) 住民基本台帳

帯広市の人口動向

自然増減

減少幅が約2倍に拡大



減少幅が約2倍に

死亡数 +9.4% (H27対比)

出生数 ▲12.7% (H27対比)

自然増減

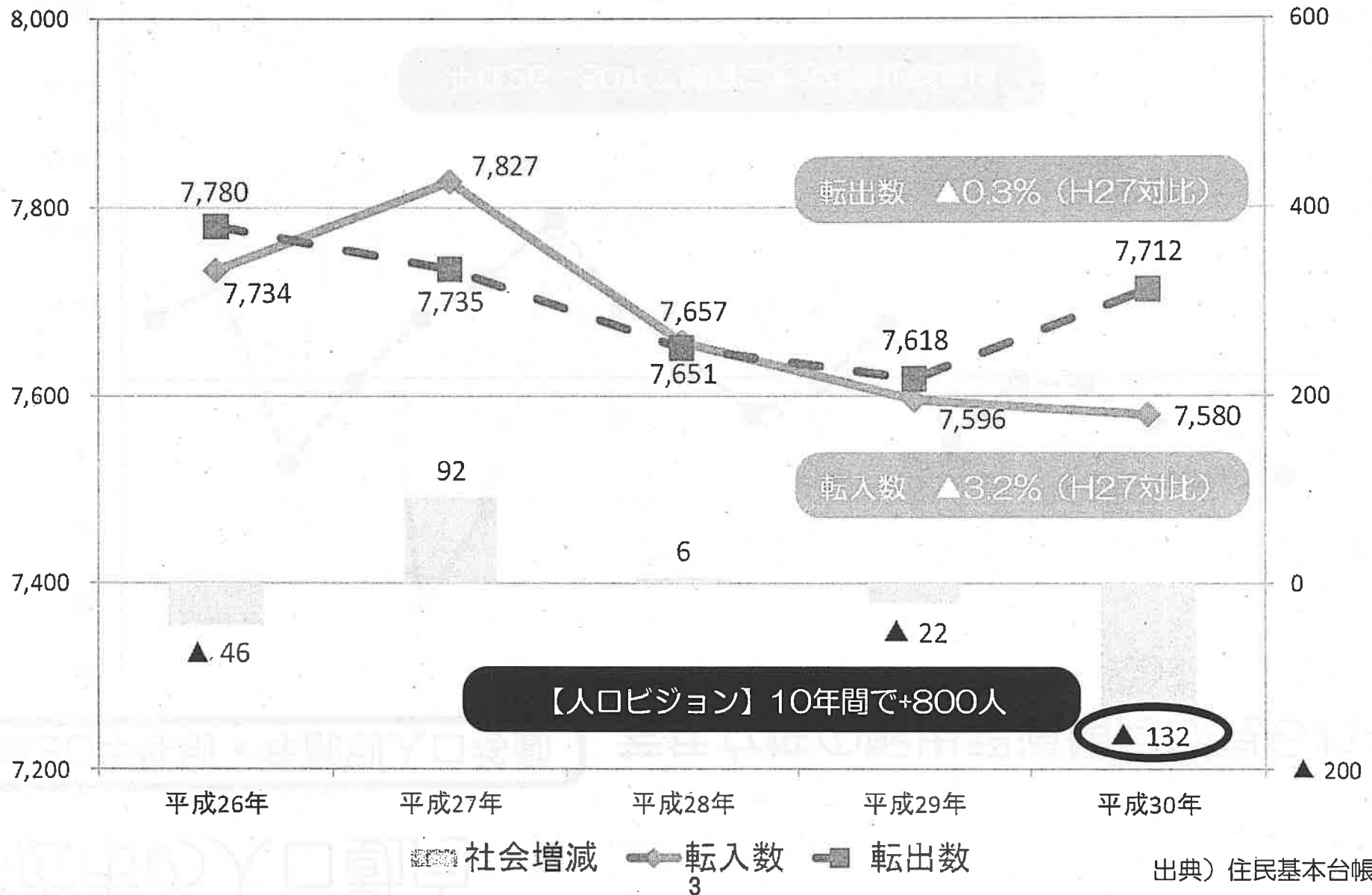
出生数

死亡数

帯広市の人口動向

社会増減

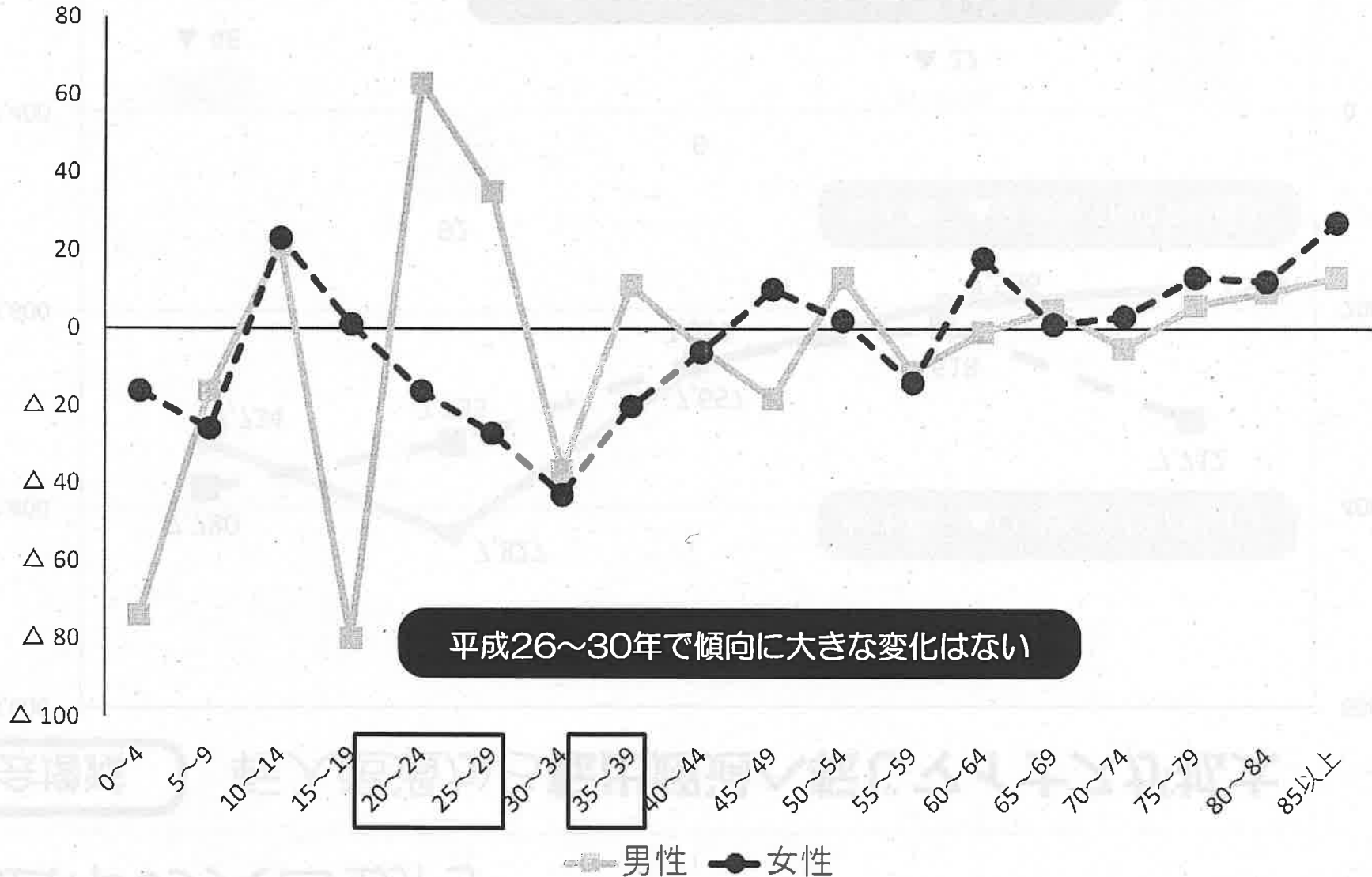
転入超過から転出超過へ転じマイナスが拡大



帯広市の人口動向

平成30年性別・年齢別人口移動

若年女性の転出超過傾向が見られる



平成26~30年で傾向に大きな変化はない

出典) 住民登録データから帯広市集計

帯広市の人口動向

平成26～30年人口移動図

札幌市・東京圏への転出超過が拡大傾向

	H26	H27	H28	H29	H30
旭川市	△72人	+10人	+16人	+47人	+19人
他上川管内	△2人	+50人	+24人	+7人	+24人

	H26	H27	H28	H29	H30
十勝管内	+359人	+515人	+220人	+319人	+359人

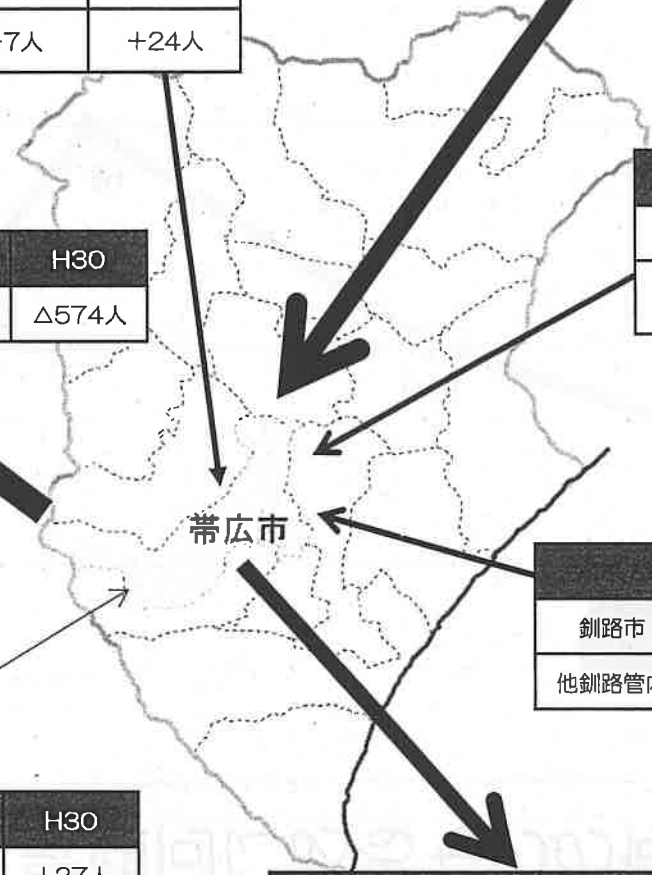
	H26	H27	H28	H29	H30
札幌市	△307人	△485人	△441人	△450人	△574人

	H26	H27	H28	H29	H30
北見市	+21人	+53人	+3人	+43人	+38人
他オホーツク管内	+11人	+30人	+52人	+72人	+73人

	H26	H27	H28	H29	H30
日高管内	+26人	+18人	+19人	+9人	+27人

	H26	H27	H28	H29	H30
釧路市	+62人	+64人	+148人	+45人	+93人
他釧路管内	+37人	+19人	+58人	+13人	+40人

	H26	H27	H28	H29	H30
東京圏	△252人	△211人	△149人	△181人	△269人

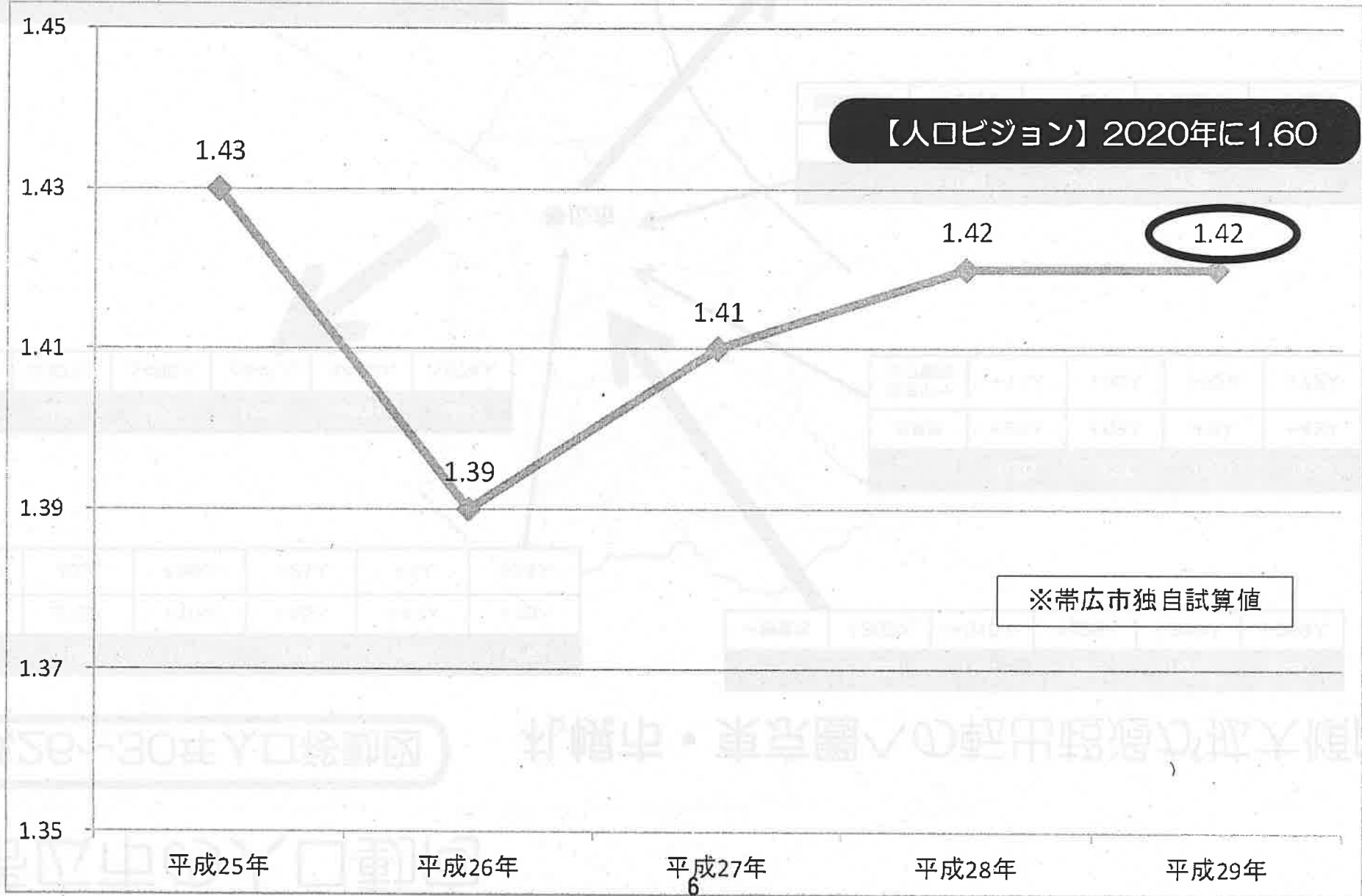


出典) 北海道総合政策部情報統計局統計課

帯広市の人口動向

合計特殊出生率

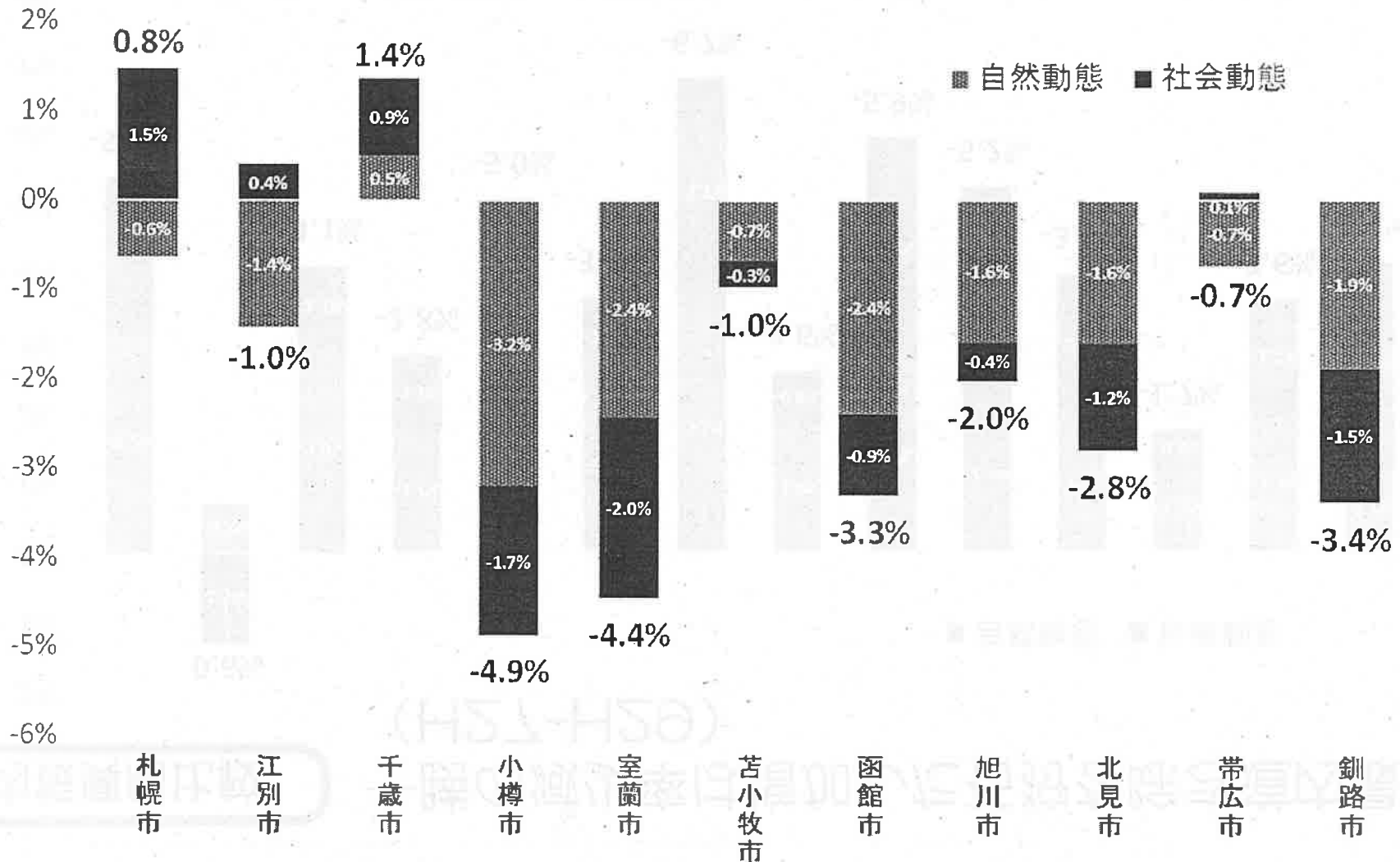
上昇傾向にあるものの伸び悩み



帯広市の人口動向

道内主要都市比較

帯広市の減少率は増加した2市を除き道内最小
(H27-H29)



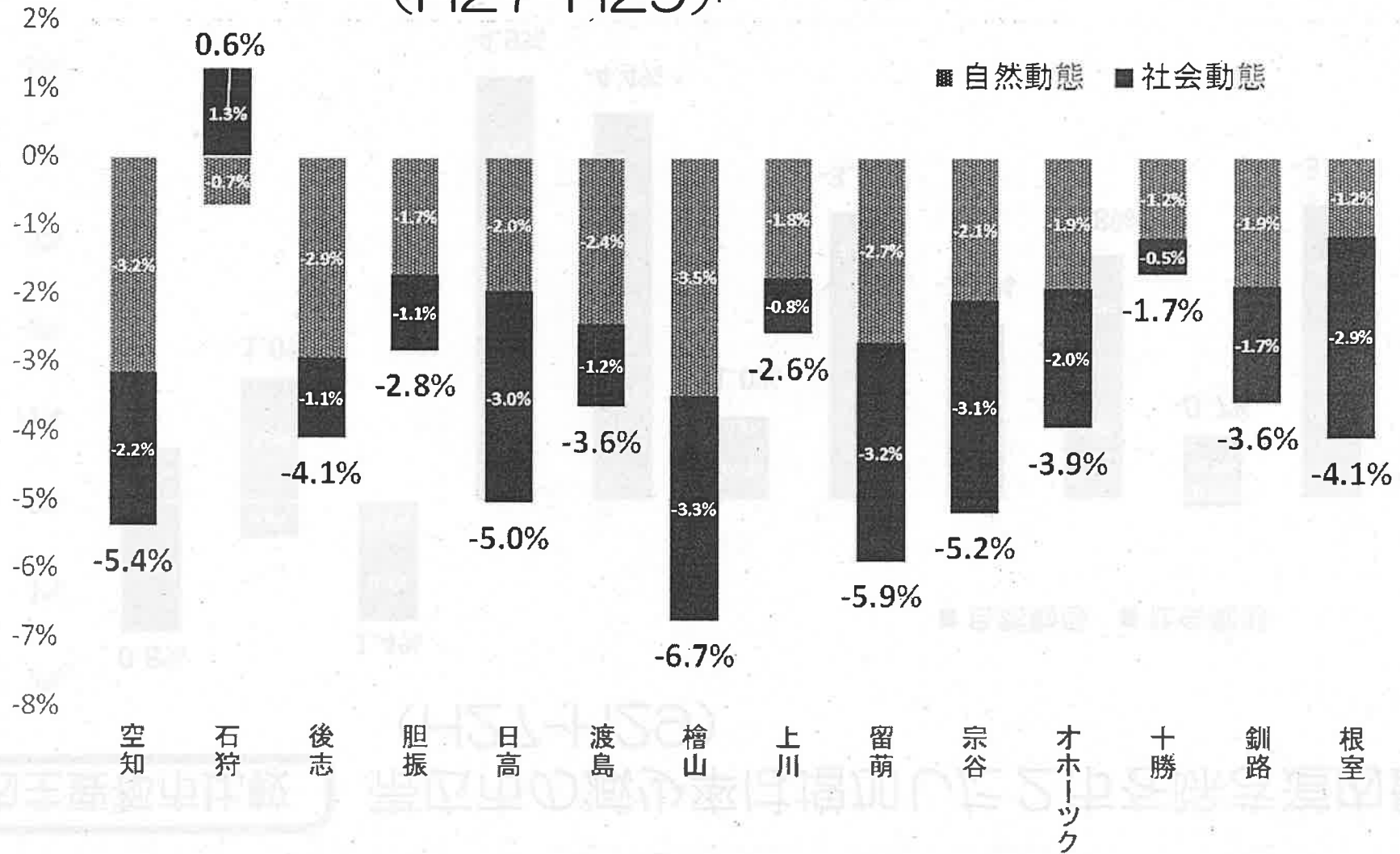
注) 社会動態は、転出入差と職権による増減の合計

出典) 振興局市区町村別人口、人口動態及び世帯数 (北海道地域振興局)

帯広市の人口動向

道内振興局比較

十勝の減少率は増加した石狩を除き道内最小
(H27-H29)



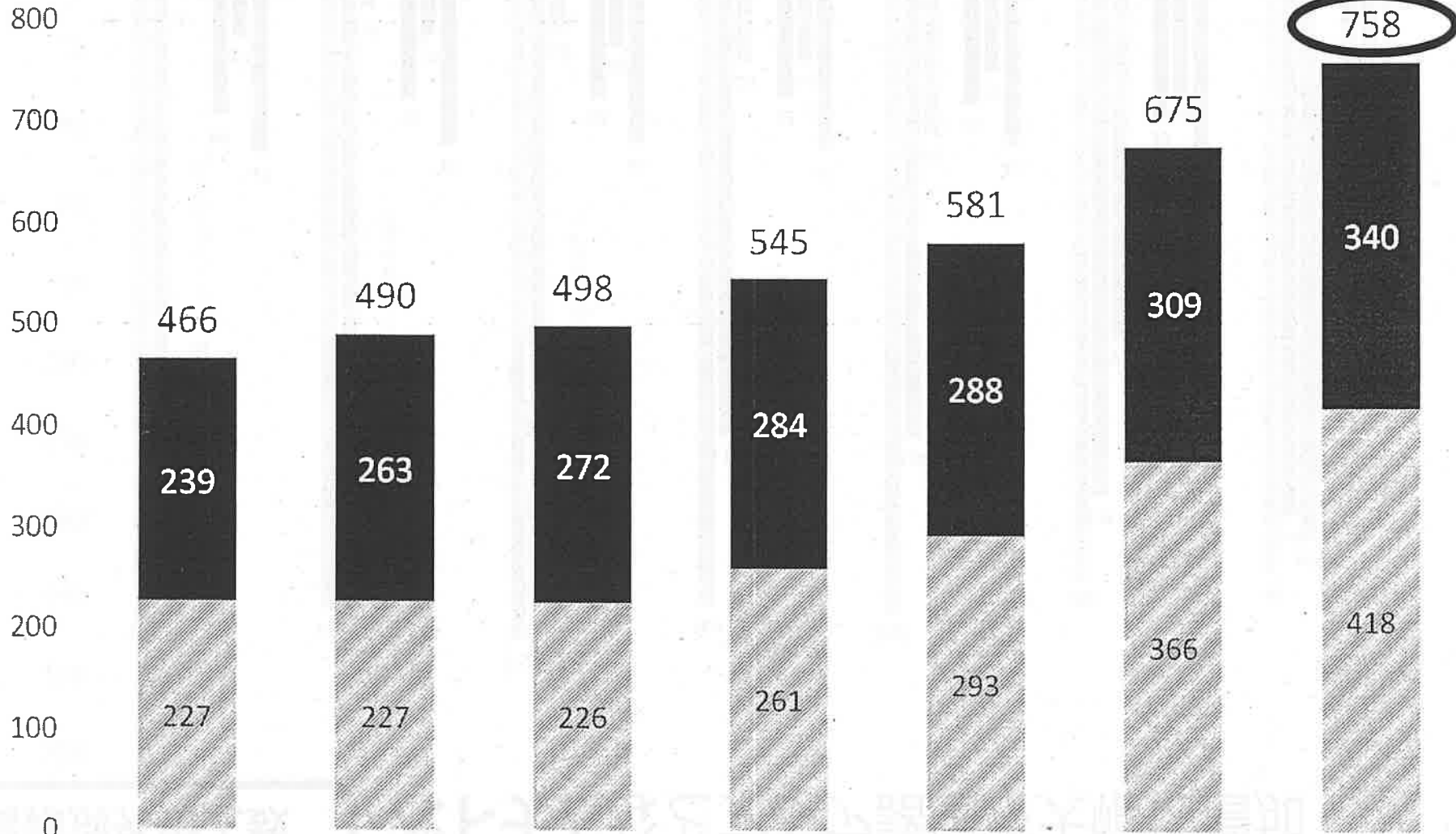
注) 社会動態は、転出入差と職権による増減の合計

出典) 振興局市区町村別人口、人口動態及び世帯数 (北海道地域振興局)

帯広市の人口動向

外国人人数

H27~H30の間で213人増加 (+39.1%)



平成24年

平成25年

平成26年

平成27年

平成28年

平成29年

平成30年

男 ■ 女 計

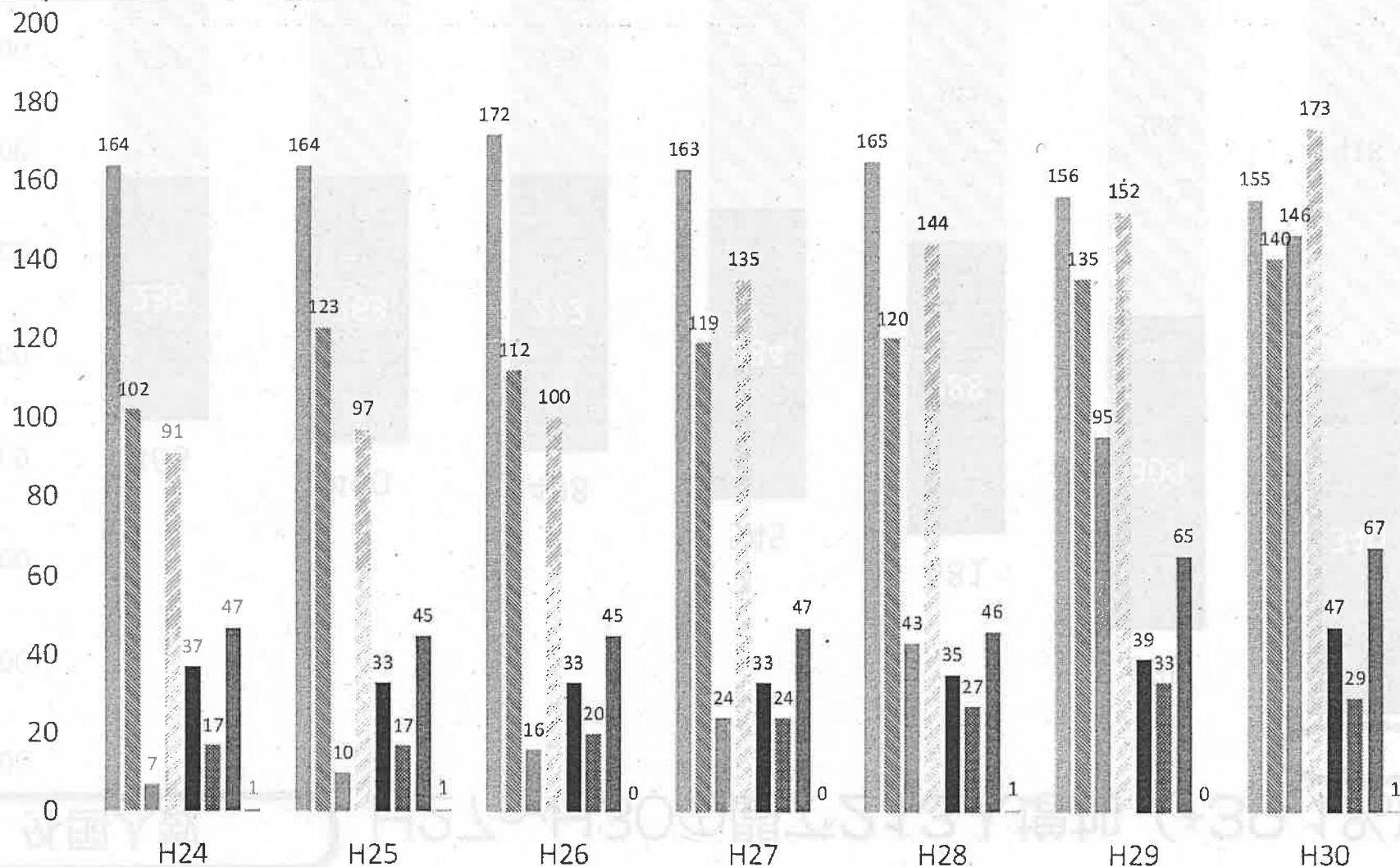
出典) 住民基本台帳

帯広市の人口動向

帯広市 統計センター

国籍別外国人数

ベトナムなどアジア諸国が大幅に増加



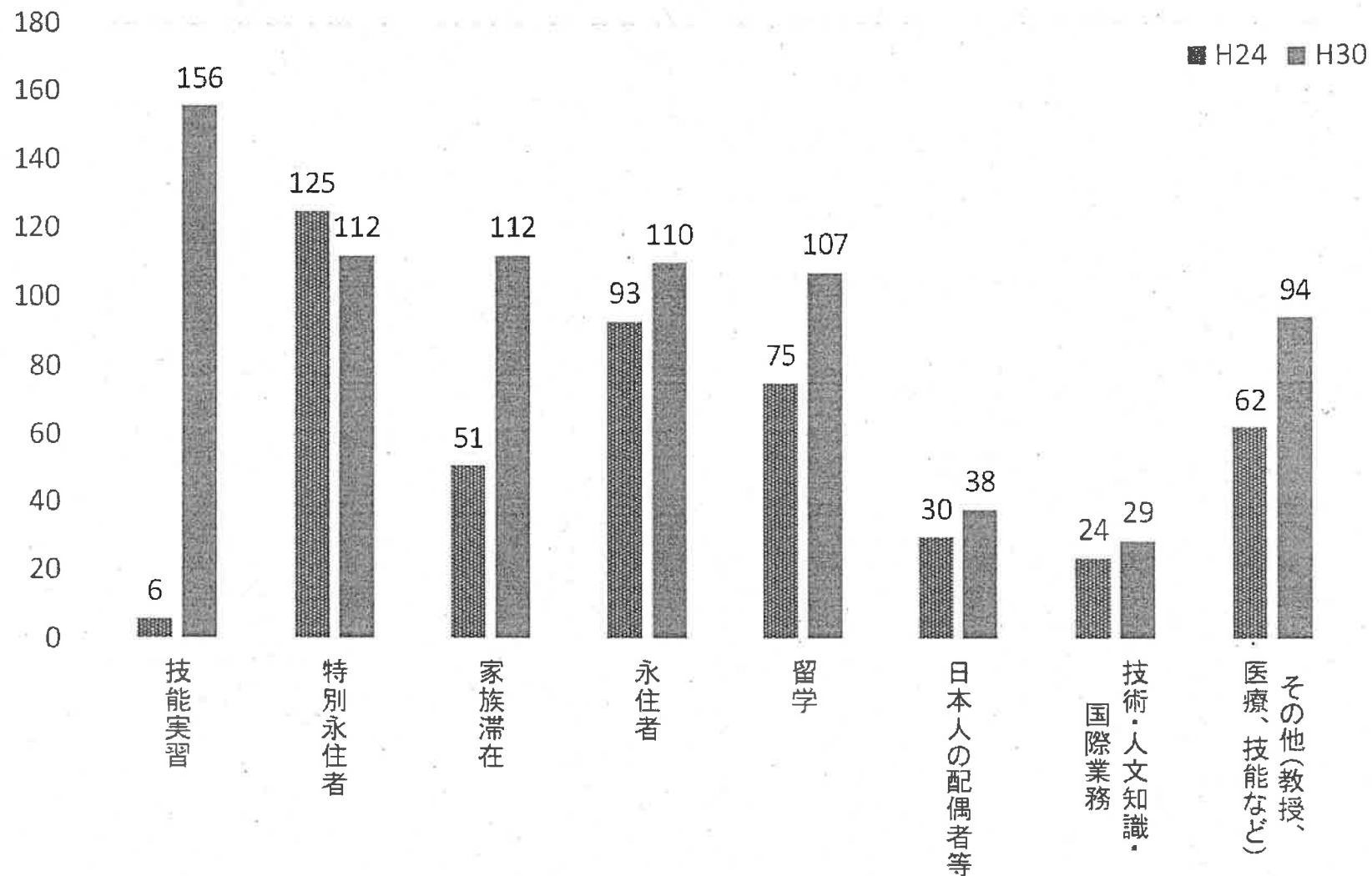
■ 韓国・朝鮮 ■ 中国 ■ ベトナム ■ その他アジア・大洋州 ■ 北米・中南米 ■ 欧州 ■ 中東・アフリカ ■ 不明

注) 外務省ホームページ掲載の地域区分による 出典) 住民基本台帳

帯広市の人口動向

在留資格別外国人数

技能実習が大幅に増加



注)H24の「技術・人文知識・国際業務」は「技術」及び「人文知識・国際業務」の合計 出典)住民基本台帳